

6 救急医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値 (達成時期)
①救急告示医療機関の数	102施設 (R5.4)	現状維持 (R11年度)
②二次救急医療体制の確保・充実	共同利用型病院方式 3圏域 (R5.4) 病院群輪番制 7圏域 (R5.4) 熊毛圏域 (民間病院1施設) (R5.4)	現状維持 (R11年度)
③救急搬送における医療機関への照会回数11回以上の事案をなくす	33件 (R4年度)	0件 (R11年度)

[目標設定の考え方]

【救急告示医療機関の数】

救急告示医療機関においても、対応可能な範囲で高度な専門的診療を行っており、救急医療体制を確保する観点から、現状を維持することを目指し目標値を設定します。

【第二次救急医療体制の確保・充実】

高齢化の進行などを要因に、救急出動件数及び搬送人員は増加が見込まれることから、入院を要する救急医療を担う医療体制を確保する必要があるため、現状を維持することを目指し目標値を設定します。

【救急搬送における医療機関への照会回数】

病院前救護活動の機能強化を図るため、実施基準に基づいた適切な傷病者の搬送及び医療機関の受入れを行う必要があることから、重症以上傷病者の救急搬送において、医療機関への照会件数11回以上の事案をなくすことを目指し目標値と設定します。

7 災害医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値 (達成時期)
①DMAT数	27チーム (R5年度)	51チーム (R11年度)
②DPAT数	10チーム (R5年度)	15チーム (R11年度)

(注) 編成可能なチーム数

[目標設定の考え方]

【DMAT数】

災害対応の長期化等に備え、年間4チーム程度の整備を進めることを目指し目標値を設定します。

【DPAT数】

中長期にわたる活動に備え、二次保健医療圏（9圏域）ごとに整備することを目指し目標値を設定します。

《資料》

救急医療

分類 指標	指標名	重要指標：◎ 参考指標：○ その他：△	鹿児島 医療圏	南薩 医療圏	川薩 医療圏	出水 医療圏	始良・伊佐 医療圏	曾於 医療圏	肝属 医療圏	熊毛 医療圏	奄美 医療圏	県計	全国計
S	救命救急士の数	◎	116	85	45	37	111	36	57	42	111	640	31,762
	人口10万人対		17.3	68.0	39.9	45.7	47.6	48.0	38.3	106.2	106.4	40.3	25.2
S	住民に対する応急手当普及啓発活動の推進に関する実施要綱に基づく普及講習回数（救急蘇生法講習含む）	◎	233	17	77	21	79	16	69	11	39	562	36,505
S	A E Dの公共施設における設置台数	△	1,179	593	510	361	807	451	631	298	670	5,500	-
S	地域メディカルコントロール協議会の開催回数	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-
S	救急車の稼働台数	◎	30	16	12	10	19	9	15	10	21	142	6,549
	人口10万人対		4.5	12.8	10.7	12.4	8.2	12.0	10.1	25.3	20.1	8.9	5.2
S	全ての救急事案で救急救命士が搭乗する体制としている救急隊の割合	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77.8%	99.5%
S	救急患者搬送数	◎	30,059	6,273	4,597	3,659	10,908	3,656	7,358	1,972	5,481	73,963	5,493,658
	人口10万人対		4,493.7	5,018.0	4,080.9	4,519.0	4,680.4	4,873.1	4,944.8	4,986.1	5,256.0	4,656.9	4,355.0
S	救急患者搬送数のうち、重症以上の傷病者の搬送件数	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8,361	547,888
	人口10万人対		-	-	-	-	-	-	-	-	-	526.4	434.3
P	重症の傷病者の搬送で4医療機関以上に要請を行った件数	◎	5	10	7	0	22	18	11	0	0	73.0	19,627.0
P	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1,719
	人口10万人対		-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	1.4
P	救急要請（覚知）から現場到着までに要した平均時間	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5分	9.4分
P	救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.9	42.8
P	救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに30分以上要した件数	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54,627	4,326,674
	人口10万人対		-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,439.4	3,429.9
P	転院搬送の実施件数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,512	518,483
O	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1%	11.1%
O	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後社会復帰率	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0%	6.9%
S	救命救急センターの数（二次医療圏/県全域）	◎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	3	300
	人口10万人対		0.3	-	-	-	-	-	-	-	1.0	0.2	0.2
S	特定集中治療室のある病院数（ICUを有する施設数）	◎	6	-	-	-	-	-	1	-	-	7	674
	人口10万人対		1.0	-	-	-	-	-	0.7	-	-	0.4	0.5
S	特定集中治療室のある病院の病床数（ICUの病床数）	◎	78	-	-	-	-	-	8	-	-	86	6,345
	人口10万人対		12.5	-	-	-	-	-	5.6	-	-	5.5	5.1
P	都道府県の救命救急センターの充実度評価S及びAの割合	◎	2/2 100%	-	-	-	-	-	-	-	1/1 100%	3/3 100%	292/300 97.3%
S	2次救急医療機関の数	◎	19	18	8	2	13	1	9	2	4	76	3,462
	人口10万人対		3.0	15.0	7.3	2.6	5.7	1.4	6.3	5.2	3.9	4.9	2.8
S	初期救急医療施設の数	◎	27	11	3	3	10	3	6	2	5	70	1,578
	人口10万人対		4.3	9.2	2.7	3.8	4.4	4.2	4.2	5.2	4.9	4.5	1.3
S	転棟・退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数	◎	2	-	-	-	-	-	-	-	0	2	181
P	一般診療所のうち、初期救急医療に参画する機関の割合	◎	37.5	50.9	38.7	51.5	56.8	46.2	38.1	8.3	13.4	40.5	884.1